

製品名: CCL23 (3Y14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08139**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,IF-P 1:50-1:100
分子量	13kDa

抗原情報

遺伝子名	CCL23
別名	CCL23; CKB8; Hmnp-2a; MIP3; MPIF1; SCYA23;
遺伝子 ID	6368.0
SwissProt ID	P55773
免疫原	ヒト CCL23 の合成ペプチド

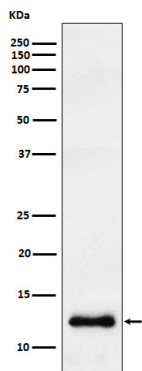
背景

単球、休止期Tリンパ球、好中球に対して走化性活性を示すが、活性化リンパ球に対しては示さない。コロニー形成アッセイにおいて骨髄系前駆細胞の増殖を阻害する。このタンパク質はヘパリンに結合することができる。CCR1に結合する。CCL23(19-99)、CCL23(22-99)、CCL23(27-99)、CCL23(30-99)は、低分子誘導性サイトカイン A23 よりも強力な走化性因子である。単球、休止期Tリンパ球、好中球に対して走化性活性を示すが、活性化リンパ球に対しては示さない。コロニー形成アッセイにおいて骨髄系前駆細胞の増殖を阻害する。このタンパク質はヘパリンに結合することができる。CCR1に結合する。CCL23(19-99)、CCL23(22-99)、CCL23(27-99)、CCL23(30-99)は、小誘導性サイトカイン A23 よりも強力な走化性因子である。

研究分野

-

画像データ



HepG2 細胞溶解物中の CCL23 発現のウエスタン ブロット分析。